



平成 19 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18 年 12 月 20 日

会社名 株式会社 テ イ ツ ー

(JASDAQ・コード番号 : 7610)

(URL <http://www.tay2.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

TEL (03) 5408-5532

大橋 康宏

責任者役職・氏名 取締役 C F O 兼 サ・ビ・ス カ・パ・ニ 経 理 財 務 部 長

片山 靖浩

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(税金費用の計算は簡便的な方法を採用しております。)

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

当社連結子会社インターピア株式会社が NECCA PTE. LTD. の設立出資に伴い株式を取得したことから当該企業を新たに持分法適用範囲に含めております。

2. 平成 19 年 2 月期第 3 四半期の財務・業績の概況 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 18 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 2 月期第 3 四半期	29,290	(22.0)	421	(2.9)	378	(11.8)	116	(42.5)
18 年 2 月期第 3 四半期	24,009	(10.3)	434	(41.4)	429	(43.0)	201	(59.2)
(参考) 18 年 2 月期	35,556		679		672		160	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 2 月期第 3 四半期	227	88	227	56
18 年 2 月期第 3 四半期	400	32	396	49
(参考) 18 年 2 月期	317	17	314	55

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 2 月期第 3 四半期	13,096	4,409	30.6	7,853 18
18 年 2 月期第 3 四半期	12,050	4,016	33.3	7,930 84
(参考) 18 年 2 月期	11,367	3,976	35.0	7,852 13

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 2 月期第 3 四半期	633	799	295	1,498
18 年 2 月期第 3 四半期	304	506	79	1,239
(参考) 18 年 2 月期	668	773	113	1,369

(4) セグメント別売上高

区 分		当四半期 (平成19年2月期 第3四半期)		前年同四半期 (平成18年2月期 第3四半期)		対前年 同期 増減率	(参考) 平成18年2月期	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
リ サ イ ク ル 品	本	3,178	10.8	3,148	13.1	1.0	4,221	11.9
	ゲ ー ム	4,859	16.6	4,240	17.7	14.6	5,936	16.7
	C D	522	1.8	631	2.6	17.2	836	2.3
	ビデオ・DVD	782	2.7	765	3.2	2.1	1,035	2.9
	小 計	9,343	31.9	8,786	36.6	6.3	12,030	33.8
新 品	本	585	2.0	546	2.3	7.3	745	2.1
	ゲ ー ム	14,434	49.3	9,791	40.8	47.4	16,277	45.8
	C D	862	2.9	853	3.5	1.1	1,200	3.3
	ビデオ・DVD	1,016	3.5	1,314	5.5	22.6	1,775	5.0
	そ の 他	73	0.3	99	0.4	25.9	136	0.4
小 計	16,973	58.0	12,604	52.5	34.7	20,135	56.6	
レ ン タ ル		130	0.5	148	0.6	12.2	190	0.6
業 務 提 携 部 門		92	0.3	44	0.2	108.2	77	0.2
そ の 他		70	0.2	75	0.3	7.1	103	0.3
古 本 市 場 事 業		26,609	90.9	21,660	90.2	22.9	32,537	91.5
アイ・カフェ事業		2,318	7.9	1,990	8.3	16.5	2,539	7.2
E C (電子商取引)事業		361	1.2	358	1.5	0.9	478	1.3
合 計		29,290	100.0	24,009	100.0	22.0	35,556	100.0

(注) 1. 前期及び当期の第3四半期に係る数値については、監査法人の監査を受けておりません。
2. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

3. 業績の概況(平成18年3月1日~平成18年11月30日)

(1) 経営成績

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、円安と海外市場の拡大を背景に外需を中心に企業収益は好調を維持するとともに、内需の柱の一つである設備投資も堅調に推移し、息の長い景気拡大を持続いたしました。当社グループの属する小売サービス業につきましては、好調な企業部門に比べ個人消費は依然として鈍化傾向という状況の中で、競争や競合はますます激しさを増す傾向が続いております。

こうした環境の下、古本市場事業が好調に推移し、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は292億9千万円(前年同期比22.0%増)と増収となりましたが、古本市場直営店の出店に伴うコスト増、(株)アイ・カフェのFC店出店の遅れ等の影響により、連結経常利益は3億7千8百万円(前年同期比11.8%減)、連結第3四半期純利益は1億1千6百万円(前年同期比42.5%減)と減益となりました。

事業の種類別セグメントごとの状況は以下のとおりであります。

【古本市場事業の概況】

「古本」市場におきましては、市場の熟成化と大手企業による寡占化が一段と進行し、競争・競合は年々激化しており厳しい環境にあります。

「家庭用テレビゲーム」市場につきましては、新型ゲーム機である「ニンテンドーDSライト」のヒットや「プレイステーション3」の発売により活況を呈しました。

「音楽および映像メディアソフト」市場につきましては、音楽ソフトでは前年と比べて人気タイトルの発売数が少なくなったことから、また、映像ソフトにおいては人気タイトルの発売はあったものの新品価格が低下した影響から

伸び悩むこととなりました。

このような環境の下、古本市場事業においては、既存店の活性化を図るべく、マーケットの変化に対応した店内の売場レイアウト変更による販売強化、店舗オペレーション改善による業務効率化、出店から年数の経過した店舗の改装などに注力いたしました。新規出店については、直営店として古本市場深谷店（埼玉県）、古本市場鴻巣 MEGA-MIX 店（埼玉県）、古本市場菱江店（大阪府）、古本市場みずほ台店（埼玉県）、古本市場北加賀屋店（大阪府）に加え、古本市場事業のドミナントエリアにおけるマーケットシェアの更なる向上を主目的とした新概念としての小型店であるふる1川越クレアモール店（埼玉県）と6店舗を出店し、FC店として高岡店（富山県）、真砂本町店（鹿児島県）の2店舗を出店いたしました。

こうした既存店活性化策と新規出店の結果、音楽や映像メディアソフト販売においてやや厳しい展開であったものの、ゲームの販売強化のための各種施策が成功し、既存店売上高は対前年同期比二桁の伸長率を維持し、当第3四半期連結会計期間における古本市場事業の売上高は266億1千1百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益は14億4千5百万円（前年同期比24.3%増）となりました。

【アイ・カフェ事業の概況】

「インターネット・コミック・カフェ」市場につきましては、各社の積極的な出店が続き市場全体は成長過程にあり、業界全体の認知度も大きく向上しておりますが、その一方で、同業者間の競争は激しさを増しております。

このような環境の下、アイ・カフェ事業としては、直営店としてアイ・カフェ PABOT'S 函館店（北海道）、アイ・カフェ 286KAGITORI 店（宮城県）、アイ・カフェ+plus デトックス・スパ石の恵 nORBESA 店（北海道）、アイ・カフェ西神戸店（兵庫県）、アイ・カフェ東岡山店（岡山県）の5店舗を出店したほか、FC店としてアイ・カフェ松山キスケ BOX 店（愛媛県）、アイ・カフェ鴻巣 MEGA-MIX 店（埼玉県）、アイ・カフェ真砂本町店（鹿児島県）、アイ・カフェ会津インター店（福島県）の4店舗を出店し、合わせて9店舗の新規出店を果たし、当第3四半期連結会計期間末のアイ・カフェ店舗数は33店舗となりましたが、FC店につきましては、当初に予定した出店数を下回ることとなりました。

店舗運営面に関しましては、季節に合わせた新メニューや新サービスを導入するなど顧客満足に向けたサービスの強化とともに、「驚きと感動の創造」「快適な時間と空間の提供」を実現するため、スタッフのさらなる接客レベル向上を目的に、外部からのコンサルティングを受けながら独自の接客研修を実施するなど、パート・アルバイトを含む全従業員のサービス・接客レベルの向上に努めてまいりました。

一方、連結子会社であるインターピア株式会社においては、インターネット・コミック・カフェ向けの店舗運営管理システム「Necca-Manager System Solution」の販売を中心に、多店舗展開を行っている企業向けのシステム開発および販売を進めてまいりました。

こうした結果、アイ・カフェ事業の売上高は23億1千8百万円（前年同期比16.5%増）となり増収を果たすことができました。一方、利益面におきましては、FC店の新規出店の遅れ、直営店5店舗の出店に伴う一時的な出店費用の増加、今期出店した店舗の売上の伸びが予想を下回ったことなどにより、営業損失は3億3千4百万円（前第3四半期連結会計期間は営業損失8千万円）となりました。

『店舗数の推移』

（単位：店）

	期首現在	出店	退店	形態変更	第3四半期末現在	増減
古本市場直営店	78	6	-	2	86	+8
古本市場業務提携・FC店	30	2	2	2	28	2
ブック・スクウェア直営店	5	-	-	-	5	-
アイ・カフェ直営店	12	5	-	1	16	+4
アイ・カフェFC店	12	4	-	1	17	+5
合計	137	17	2	-	152	+15

【EC事業の概況】

EC（電子商取引）市場は、ブロードバンド普及率の高まりや携帯コマースの伸張、業界大手の新規参入、取扱商材の拡大、広告や流通形態の進化などにより、拡大をしつつ競争も激しくなっております。

このような環境の下、EC事業においては、古本や中古ゲーム等の買取強化のため、抽選で現金等が当たるキャンペーンの実施や、買取査定価格を100人ごとに1人10倍とさせていただくというキャンペーンを実施したほか、「古本特集」「ゲーム特集」「中古DVD祭り」、など古本、ゲーム及びDVDという商材ごとの特集やキャンペーンにも積極的に取り組み売上の拡大を図ってまいりました。

こうした結果、EC事業の売上高は4億1千1百万円（前年同期比2.7%増）となり、増収を果たすことができました。一方、利益面におきましては、新規事業へのシステム投資の影響やアクセス数の増加に対応してシステム増強等を行ったため、営業損失は2千2百万円（前第3四半期連結会計期間は営業損失3百万円）となりました。

ユーブック会員数の推移

（単位：千人）

	期首	第3四半期
累積会員数（18年2月期）	327	422
累積会員数（19年2月期）	455	553
増減数	128	131

（2）財政状態

当第3四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、たな卸資産の増加8億5千8百万円、新規出店による有形固定資産の取得による支出6億2千2百万円などがあったものの、税金等調整前第3四半期純利益、減価償却費が6億4千万円、仕入債務が11億7千8百万円増加したことなどから、期首より1億2千9百万円増加し14億9千8百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間において、営業活動の結果得られた資金は、6億3千3百万円（前第3四半期連結会計期間と比較して3億2千8百万円の増加）となりました。

これは、法人税等の支払い、年末商戦を控えてのたな卸資産等の増加及びFC店出店時の売掛金の発生による売上債権の増加があったことによる減少要因があった一方で、据置型の新型ゲーム機の発売があったことによる商材仕入の仕入債務が増加したことなどにより増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間において、投資活動の結果支出した資金は、7億9千9百万円（前第3四半期連結会計期間と比較して2億9千3百万円の増加）となりました。

これは、主に直営店の出店にかかる投資による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間において、財務活動の結果調達した資金は、2億9千5百万円（前第3四半期連結会計期間と比較して2億1千6百万円の増加）となりました。

これは主に長期借入金、短期借入金を返済している一方で、子会社の増資による調達があったこと、新規出店に係る資金を長期借入金により調達したことによります。

4. 通期の見通し(平成18年3月1日~平成19年2月28日)

今後のわが国経済につきましては、企業収益の向上、設備投資の増加、雇用情勢の改善や個人消費の増加などにより、緩やかな成長が続くものと予想されますが、設備投資や個人消費の伸びには鈍化の傾向もあり予断を許さない状況が続くと思われま

す。こうした環境の下、当社グループは業務効率の改善や店舗競争力の強化などにより、業績の向上を図ってまいります。

古本市場事業におきましては、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの「プレイステーション3」や任天堂株式会社の「Wii」という新しい据置型ゲーム機の発売によるゲーム市場の拡大などを見据えて、市場環境の変化に対応した売場作り及び効率的なオペレーションに注力してまいります。また、「ふる1カード」会員に対するサービスのさらなる魅力向上と会員獲得、店舗における接客サービスの向上などにより、顧客サービスの強化と売上の拡大を図ってまいります。

アイ・カフェ事業におきましては、顧客サービスやコンテンツの充実を図るなど来店客数の増加に取り組むとともに、出店コスト・店舗オペレーションコストを徹底的に見直すことによる店舗収益力の向上を図ってまいります。インターピア株式会社においても、既存の導入店舗の様々なニーズにきめ細かく対応した新POSの開発に取り組むとともに、引き続き多店舗展開を行っている企業向けに店舗運営管理システム、本部運営システムの販売を図ってまいります。

EC事業におきましては、古本や中古ゲーム等の買取強化によるリサイクル品の品揃えの拡充、新規会員の獲得に注力するとともに、販売価格・買取価格の継続的な見直しや、オペレーションの見直しによる売上及び収益力の向上を図ってまいります。

以上のような取り組みにより、平成18年12月20日付当社「平成19年2月期通期(単独・連結)業績予想の修正に関するお知らせ」に発表いたしましたとおり、平成19年2月期の連結売上高は425億円(前連結会計年度比19.5%増)、連結経常利益は8億円(同19.0%増)、連結当期純利益は3億4千万円(同112.0%増)を見込んでおります。

(注)上記の予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の実績等は業況の変化等により、上記予測と異なる場合があります。

1. 第3四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年2月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	1,581,653	1,239,284	342,369	27.6	1,452,532
売掛金	530,937	336,948	193,988	57.6	328,304
たな卸資産	4,638,228	4,534,458	103,769	2.3	3,779,582
その他	676,120	690,674	14,554	2.1	592,636
貸倒引当金	887	367	520	141.9	742
流動資産合計	7,426,051	6,800,999	625,052	9.2	6,152,312
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物	2,015,364	1,815,981	199,383	11.0	1,793,678
土地	242,279	242,279			242,279
建設仮勘定	25,000	51,485	26,485	51.4	97,270
その他	340,168	295,624	44,544	15.1	285,148
有形固定資産合計	2,622,813	2,405,370	217,442	9.0	2,418,376
無形固定資産					
ソフトウェア	130,560	191,448	60,888	31.8	163,491
その他	128,859	128,936	76	0.1	104,323
無形固定資産合計	259,420	320,385	60,964	19.0	267,814
投資その他の資産					
長期貸付金	544,433	476,761	67,671	14.2	464,395
差入保証金	1,566,295	1,400,998	165,297	11.8	1,406,889
その他	678,459	659,118	19,341	2.9	659,198
貸倒引当金	1,270	13,115	11,845	90.3	1,270
投資その他の資産合計	2,787,919	2,523,762	264,156	10.5	2,529,212
固定資産合計	5,670,152	5,249,518	420,634	8.0	5,215,404
資産合計	13,096,203	12,050,517	1,045,686	8.7	11,367,716

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年2月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成18年2月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
流動負債					
買掛金	2,524,582	2,081,951	442,630	21.3	1,346,244
短期借入金	1,600,000	1,600,000			1,700,000
1年内返済予定長期借入金	925,472	883,388	42,084	4.8	835,261
未払法人税等	78,437		78,437		62,557
賞与引当金		4,712	4,712		95,251
ポイント値引引当金	285,031	266,457	18,573	7.0	263,930
その他	720,949	657,632	63,316	9.6	574,379
流動負債合計	6,134,473	5,494,143	640,330	11.7	4,877,625
固定負債					
長期借入金	2,101,244	1,862,982	238,262	12.8	1,819,291
退職給付引当金	118,877	50,157	68,720	137.0	52,304
役員退職慰労引当金	156,844	135,909	20,935	15.4	149,053
その他	174,848	171,832	3,016	1.8	172,416
固定負債合計	2,551,815	2,220,880	330,935	14.9	2,193,065
負債合計	8,686,288	7,715,023	971,265	12.6	7,070,690
(少数株主持分)					
少数株主持分		318,919	318,919		320,313
(資本の部)					
資本金		1,149,292	1,149,292		1,149,645
資本剰余金		1,103,581	1,103,581		1,103,933
利益剰余金		2,051,098	2,051,098		2,009,603
その他有価証券評価差額金		3,091	3,091		4,020
自己株式		290,489	290,489		290,489
資本合計		4,016,574	4,016,574		3,976,712
負債、少数株主持分及び資本合計		12,050,517	12,050,517		11,367,716
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	1,165,507		1,165,507		
資本剰余金	1,119,796		1,119,796		
利益剰余金	2,013,801		2,013,801		
自己株式	290,489		290,489		
株主資本合計	4,008,616		4,008,616		
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	3,964		3,964		
評価・換算差額等合計	3,964		3,964		
少数株主持分	397,334		397,334		
純資産合計	4,409,915		4,409,915		
負債純資産合計	13,096,203		13,096,203		

2. 第3四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年2月期 第3四半期)	増減		(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売 上 高	29,290,047	24,009,607	5,280,440	22.0	35,556,700
売 上 原 価	22,006,368	17,208,793	4,797,574	27.9	26,200,918
売 上 総 利 益	7,283,679	6,800,813	482,865	7.1	9,355,782
販売費及び一般管理費	6,861,885	6,366,257	495,627	7.8	8,676,393
営 業 利 益	421,793	434,555	12,761	2.9	679,389
営 業 外 収 益	83,603	87,648	4,045	4.6	117,740
営 業 外 費 用	126,651	92,761	33,890	36.5	125,089
経 常 利 益	378,744	429,443	50,698	11.8	672,039
特 別 利 益	50,368	558	49,810	8,926.7	46,096
特 別 損 失	142,897	20,208	122,689	607.1	355,847
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	286,215	409,792	123,577	30.2	362,287
税 金 費 用	206,413	151,055	55,358	36.6	177,258
少数株主利益又は損失(は損失)	36,310	56,852	93,162	163.9	24,640
第3四半期(当期)純利益	116,112	201,884	85,772	42.5	160,389

3. 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年2月期 第3四半期)	(参考) 平成18年2月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	286,215	409,792	362,287
減 価 償 却 費	354,389	373,811	510,293
減 損 損 失	54,777		38,895
賞与引当金の増減額(減少：)	95,251	85,165	5,373
ポイント値引引当金の増加額	21,100	8,527	5,999
退職給付引当金の増加額	66,573	7,470	9,617
役員退職慰労引当金の増加額	7,791	30,265	43,409
貸倒引当金の増減額(減少：)	145	558	12,027
受取利息及び受取配当金	2,311	1,619	2,368
支 払 利 息	45,975	40,700	51,436
持分法による投資損益	8,437	10,084	22,087
長期貸付金の家賃相殺額	49,361	47,268	60,242
投資有価証券評価損	12,000		40,250
固定資産除却損	17,655	1,048	19,961
事業譲渡益	13,916		
売上債権の増加額	202,633	56,666	48,021
たな卸資産の増加額	858,902	831,145	76,049
その他流動資産の増減額(増加：)	78,405	69,974	4,371
仕入債務の増加額	1,178,337	872,632	136,925
その他流動負債の増加額	38,796	106,218	61,739
そ の 他	5,549	35,299	66,643
小 計	895,687	877,819	1,256,893
利息及び配当金の受取額	338	153	454
利息の支払額	47,590	41,550	52,712
法人税等の支払額	215,202	531,841	536,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	633,233	304,579	668,092
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の純増減額(増加：)	3	83,013	16
有形固定資産の取得による支出	622,584	302,937	404,338
有形固定資産の売却による収入			609
無形固定資産の取得による支出	41,241	102,258	124,323
差入保証金の払込による支出	135,804	184,172	271,660
差入保証金の返還による収入	10,190	19,472	55,887
投資有価証券の取得による支出	62,546	1,838	2,487
投資有価証券の売却による収入	52,000		
長期貸付金の貸付けによる支出	110,639		
事業譲渡による収入	159,985		
そ の 他	49,089	17,517	27,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	799,733	506,239	773,495

	当四半期 (平成19年2月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年2月期 第3四半期)	(参考) 平成18年2月期
区 分	金 額	金 額	金 額
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:)	100,000	400,000	500,000
長期借入れによる収入	1,120,000	500,000	650,000
長期借入金の返済による支出	747,835	767,615	1,009,433
株式発行による収入	31,365	51,830	52,535
少数株主への株式の発行による収入	99,436	-	30,000
親会社による配当金の支払額	107,352	104,823	109,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	295,614	79,390	113,352
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	129,114	122,269	7,949
現金及び現金同等物の期首残高	1,369,502	1,361,553	1,361,553
現金及び現金同等物の第3四半期期末(期末)残高	1,498,617	1,239,284	1,369,502

4. セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

当四半期（平成 19 年 2 月期第 3 四半期）

	古本市場 事業（千円）	アイ・カフェ 事業（千円）	E C 事業 （千円）	計 （千円）	消去又は 全社（千円）	連結 （千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	26,609,920	2,318,599	361,527	29,290,047	-	29,290,047
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,071	-	49,872	51,943	51,943	-
計	26,611,992	2,318,599	411,400	29,341,991	51,943	29,290,047
営業費用	25,166,097	2,652,905	434,274	28,253,277	614,976	28,868,254
営業利益 (は営業損失)	1,445,895	334,306	22,874	1,088,714	666,920	421,793

前年同四半期（平成 18 年 2 月期第 3 四半期）

	古本市場 事業（千円）	アイ・カフェ 事業（千円）	E C 事業 （千円）	計 （千円）	消去又は 全社（千円）	連結 （千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	21,660,232	1,990,924	358,450	24,009,607	-	24,009,607
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,710	-	42,301	54,012	54,012	-
計	21,671,943	1,990,924	400,752	24,063,619	54,012	24,009,607
営業費用	20,509,123	2,070,982	404,147	22,984,253	590,798	23,575,051
営業利益 (は営業損失)	1,162,819	80,058	3,394	1,079,366	644,810	434,555

(参考) 平成 18 年 2 月期

	古本市場 事業（千円）	アイ・カフェ 事業（千円）	E C 事業 （千円）	計 （千円）	消去又は 全社（千円）	連結 （千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	32,537,979	2,539,863	478,857	35,556,700	-	35,556,700
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,391	-	53,830	61,222	61,222	-
計	32,545,371	2,539,863	532,688	35,617,923	61,222	35,556,700
営業費用	30,782,155	2,721,909	560,471	34,064,536	812,775	34,877,311
営業利益 (は営業損失)	1,763,215	182,045	27,783	1,553,386	873,997	679,389